

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	olea NISHIKI			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 14 日 ～ 令和 7 年 2 月 1 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 人	(回答者数)	1 人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 14 日 ～ 令和 7 年 2 月 1 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 人	(回答者数)	6 人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないように工夫しています。	利用者様の興味関心に沿った活動の提供やイベント活動など、お子様の主体性や対話を大切に活動提供をする中で、豊富な経験や深い学びに繋がれていると思います。	本人支援における支援プログラムをガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に幅広い経験や深い学びの場が提供できるようにしていきたいと思います。
2	児童発達支援は個別療育となるため児童一人ひとりのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。	1対1のかかわりを大切に個別の担当制を取り入れていますが、また、サービス終了後、保護者様に代わり保育園に当日の様子を丁寧に説明しています。	保護者様や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、お子様の発達支援に努めていきたいと思っています。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所により、幼児から高校生までの幅広い世代の利用者様が利用しています。そのため、高学年のお子様が小さい子のお世話をしてくれたり、小さい子は大きい子の姿を見ながら真似をしようと頑張ったりと、お互い助け合える良い関係性ができています。	個々の成長発達に合わせた活動や取り組みができるよう、場面に応じて個別な配慮や支援を行っています。	日々の活動や余暇の中で、基本的な生活能力の習得から就労や自立に向けたスキルアップを目指し、楽しみながら学べるような療育カリキュラムを工夫しながら支援していきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	作業療法士や言語聴覚士等、専門職員が在籍していません。そのため、訓練を必要とするお子さまのニーズに応えることが難しいです。	求人の応募がないことです。	支援の充実を図るため、専門学校等へのリクルートや専門士協会等への相談の機会を増やし、雇用に繋がるよう努めていきたいと思っています。
2	保護者様との連携や情報共有の時間が少なかったと思います。	ご家族の就業等により情報共有する時間を設けることが難しくなっています。	今後は3月に1回以上の面談の他、日々の近況報告等でICTを活用した情報共有をしていけるよう検討していきたいと思っています。
3	非常災害時や緊急時等のマニュアルは整備され各種訓練等も実施していますが、保護者方へ詳細な情報が伝わりにくいと感じています。	保護者方へ分かりやすい情報を発信していく必要があると思います。	個別に説明させていただく他にも、別の方法で情報発信をしていけるか検討していきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 olea NISHIKI

公表日 令和 7 年 2 月 28 日

利用児童数

1

回収数

1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1				園の先生から細かく報告いただいているので、いつも安心して利用させてもらっていると感じています。	保育所等と連携し、交流の機会を作れるよう努力していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1				もう少し積極的に行っていただけると助かります。	今後は3月に1回以上の面談の他、日々の近況報告等でICTを活用した情報共有をしていけるよう検討します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1				いつも楽しかった事などを話してくれ す。色々配慮していただいとて も助かっております。	今後も様々な療育カリキュラムを 提供し、活動内容を工夫しながら 個々に応じた支援を提供してい きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		olea NISHIKI					公表日 令和 7 年 2 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			感染症対策により活動スペースに若干の制限が生じております。今後も安全に配慮して支援していきたいと思います。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基準の職員数に加え、加配の職員を配置しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚的ツールを活用し、利用者様に混乱のないよう配慮しています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		感染症対策を充分行っています。活動内容に合わせた環境整備を行い、安全な空間を提供しています。	その都度、使用している備品等の消毒を行い、利用者様が安心して過ごしやすい環境を提供していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		活動内容によっては小学生と中高生と分けて活動頂いています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		個別支援計画会議やケースカンファレンス、日々のミーティングの中等で必ず全職員参画しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年、保護者様からいただいた評価表を基に業務改善を図っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事業所内、法人内ミーティングにて改善課題があった際は、迅速に対応しています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者による外部評価の実施に努めていきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内研修会を開き、他職員へ周知しています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		3月中にHPにて公表いたします。また、全職員共通理解を基に、統一した支援を提供していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		利用者様から支援中の何気ない会話等から、本人の求めているニーズなどを聞き出すようにしています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		地域支援・地域連携については、保護者様の要望に沿って進めています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		他職員も意欲的、自発的に取り組んでいます。	継続して基本的には児童発達管理責任者が、活動プログラムの立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		天気の良い日は公園や散歩に出かけたりと、気分転換の時間を設けています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の能力を最大限伸ばしていきたい取り組みを支援計画に盛り込んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼時に打ち合わせを行い、その日の支援内容や注意すべき点について共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		teamsにて申し送りをしています。	毎週、利用者の状態に応じて活動内容を検討し、継続する活動や見直し等実施していきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日ケース記録を取り、全職員共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		利用者様の様子を児童発達支援管理責任者に共有し、必要に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		直接支援担当職員から情報収集を行い、児童発達管理責任者が出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者様の要望に沿って、学校等と連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1	児童発達支援センター主催の研修会には積極的に参加しています。	保護者様の要望に沿って、助言をいただくようにしています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		保護者様の中には交流を望まない方もいます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		支援終了後に、当日の利用者様の様子を口頭、または連絡帳やLINEでお伝えし、保護者様からもお話を伺っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		専門職員による家庭支援を積極的に実施していきたいと思っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談の他、モニタリングの機会を設けて家族や利用者様の意向を聞き取るようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		定期的に親子参加型イベントの開催し、交流の機会を提供しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		Instagramを利用して情報発信させていたでいます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		専用ファイルにて施錠付きのロッカーにて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		検討し、地域に開かれた事業運営を図れるよう努力していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		訓練は年間計画を作成し、順次実施しています。	各種マニュアルをご家族様へも周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に1回以上、非常災害時の避難訓練を実施しています。	業務継続計画（BCP）は今後も年に1回以上、見直しを行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		アセスメントにて何っています。対応が必要な利用者様はその都度共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			現在、対象者はいませんが必要に応じて食物アレルギー、偏食アレルギー等の一覧表を作成していきたいと思います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		安全計画を保護者様の観覧できる位置に掲示し、必要に応じて配布し周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		業務終了時、または朝礼時に共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年に3回以上研修を実施しています。	新規入社職員に対して、入社オリエンテーション時に研修する機会を設けて行きたいと思います。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束の可能性ある利用者様については、保護者様に充分説明を行ったうえで、個別支援計画に記載し、同意を得ています。	